

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2013年4月～2017年6月に分子標的薬であるレゴラフェニブ（スチバール錠40mg）あるいはセツキシマブ（遺伝子組換え）（アービタックス注射液100mg）、パニツムマブ（遺伝子組換え）（ベクティビックス点滴静注100mg・500mg）などを使用した化学療法を受けた方			
②研究課題名	分子標的薬の皮膚障害に対する外用軟膏剤のアドヒアランスとそれに影響する因子の解析			
③実施予定期間	承認日 ～ 2018年4月			
④実施機関	静岡県立静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	佐藤 淳也	所属	薬剤部
⑥当院の研究代表者	氏名	佐藤 淳也	所属	薬剤部
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧目的	分子標的薬の副作用として皮膚障害が多く現れます。これら皮膚障害に対しては、外用保湿剤やステロイド外用剤による治療をしていますが、その有効性は大きく異なると思われます。その原因として患者さんの使用遵守状況（アドヒアランス）が影響していると思われます。そこで、本研究は、分子標的薬の皮膚障害対策として処方されている外用保湿剤およびステロイド外用剤の処方頻度からアドヒアランスの実態を調べます。			
⑨方法	外用剤の処方頻度と皮膚障害の発現状況に関する情報を診療録から収集し、解析を行います。あらたに追加検査を行うことや処方されるお薬に影響することはありません。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017年7月5日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長